

第1号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 〒160-8486

住 所 東京都新宿区新宿5-3-1

氏 名 株式会社ヨドバシカメラ

代表取締役 藤沢 和則

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ヨドバシカメラ		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 殿町3-25		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	業務 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業種 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	カメラ 電気製品 時計 装飾品の小売販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	4,215 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名	
		所 在 地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ~ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

1, 事業者基本方針  
省エネルギー、施設の長寿命化、廃棄物の削減などで地球環境との共生を目指す。

2, 市内事業所の基本方針  
計画期間（3年以内）に事業活動地球温暖化対策指針にある基本メニューを実施する。

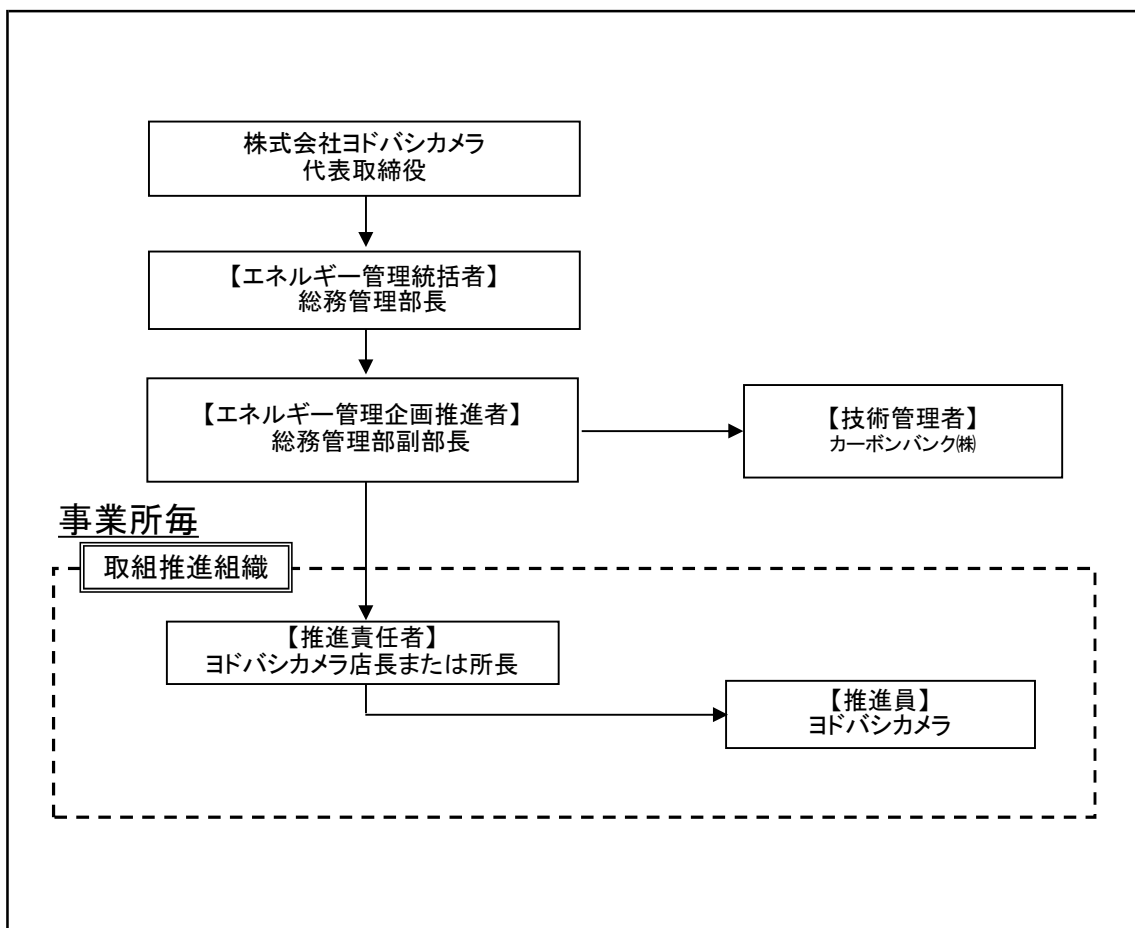
(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C A サイクル）を行うための方針

1. 川崎市内事業所の省エネおよび目標削減設定を行い年度計画を策定する。省エネ実施項目については、その都度本部と連携しながら、省エネ対策と設備新設・更新・改修等による省エネを推進していく。

2. 省エネ推進活動を効率的に行うために、全従業員参加による管理体制を整備し、推進責任者にその都度報告をし、省エネルギー対策の企画・立案・実施を行う。

3. 本部にエネルギー使用量に関するデータ等を本部担当部署へ提供・報告し、評価を伺い計画の見直しを行い、実施項目等の見直し判断を行う。

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。)

	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準排出量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) 7,647 (調) 7,647		(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) 7,418 (調) 7,418		(基) (調)		(基) (調)	
削減量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) 229 (調) 229		(基) (調)		(基) (調)	
削減率	(基) 3.0 % (調) 3.0 %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)
		削減量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)
		削減率	(基) % (調) %	(基) % (調) %	(基) % (調) %	(基) % (調) %	(基) % (調) %
第2年度	(年度)	排出量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)
		削減量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)
		削減率	(基) % (調) %	(基) % (調) %	(基) % (調) %	(基) % (調) %	(基) % (調) %
第3年度	(年度)	排出量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)
		削減量 ( t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)
		削減率	(基) % (調) %	(基) % (調) %	(基) % (調) %	(基) % (調) %	(基) % (調) %

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

	1、2号該当者		3号該当者	4号該当者
比較年度	2013	年度	年度	年度
比較年度排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	4,196 3,360	(基) (調)	(基) (調)
目標排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)	7,418 7,418	(基) (調)	(基) (調)
削減率(目標)	(基) (調)	-76.8 % -120.8 %	(基) (調)	(基) (調)
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	(基) (調)
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	(基) (調)
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	(基) (調)

(3) 目標設定に関する説明

・2017年度から新川崎YAC事業所が加わったことにより、排出量が大きく変化していることから、目標排出量は増加となるが、原単位ベースで年平均で1%削減することを目標とする。

・小売店舗として、お客様に不快感をもたれない範囲で、可能な限り省エネルギーを進めたい。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	1. 空調機器の保全管理 ・フィルターや室外機の定期的な保守・点検を実施 2. 空調機器の温度設定管理 3. 照明の点灯管理 4. 新川崎YAC以外の2店舗について排出係数の低い電力事業者への切替を検討
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値(1、2号該当者)

原単位等の活動量		建物延床面積	原単位等の単位			kl/m <sup>2</sup>
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
エネルギー消費等	原単位の値	0.01822				0.01770
活動量の値		231318				231318
エネルギー消費等の削減率			%	%	%	2.9 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(4号該当者)

原単位等の活動量			原単位等の単位			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出量	原単位の値					
活動量の値						
排出量削減率			%	%	%	%

(3) 目標設定に関する説明

温室効果ガスの排出量原単位の削減を図るため、基準排出量原単位の値を年平均で約1%削減することを目標に設定した。

- ・小売店舗として、お客様に不快感をもたれない範囲で、可能な限り省エネルギーを進めたい。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移 (1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
原油換算エネルギー使用量	4,215 kL	kL	kL	kL
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	7,647 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
事業所の数	4			

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
新川崎YAC	川崎区殿町3-25-15	5,987			

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計画	1. 空調機器の保全管理 ・フィルターや室外機の定期的な保守・点検を実施 2. 空調機器の温度設定管理 3. 照明の点灯管理
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第 3 年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)	

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項（1、2号該当者）

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入（基準年度）

種 類	設備規模 (kW)	発電量 (kWh/年)	余剰売電量 (kWh/年)	導入（保有）年度
太 陽 光				
風 力				
バ イ オ マ ス (燃料： )				
そ の 他 ( )				
そ の 他 ( )				
合 計		0	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電力エネルギー 消費量	18,844,350 kWh	kWh	kWh	kWh	18,844,350 kWh
再エネ電源等	2,164,011 kWh	kWh	kWh	kWh	2,164,011 kWh
再エネ電源比率	11.5 %	%	%	%	11.5 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排 出 係 数 ( kg-CO <sub>2</sub> /kWh )	0.404				0.395

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電 化 の 割 合	99.6 %	%	%	%	99.6 %

(4) 目標設定に関する説明

川崎アッセンブリーセンター及び新川崎YACは排出係数の低い電力供給事業者へ切替済みであり、他2事業所についても排出係数の低い電力供給事業者への切替は費用面を踏まえ検討する。また、太陽光の導入については費用対効果の分析、設置場所等を踏まえ検討するが物価高騰もあり、現段階では現状維持とする。ただし、計画期間中に排出係数の低い電力への切替を行えるよう努力します。

(5) 計画期間の再生可能エネルギー等導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	新川崎YAC以外の2店舗についても、排出係数の低い電力事業者への切替を検討	
第 1 年度		
第 2 年度		
第 3 年度		
計画期間における再生可能エネルギー等導入等の評価 (第 3 年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	上記目標等の設定なし			
内容				
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	無			
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	該当なし			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3 から 7 までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

<p>目標年度までの計画</p>	<p>YAC川崎において太陽光発電の導入を検討している</p>
<p>第 1 年度</p>	
<p>第 2 年度</p>	
<p>第 3 年度</p>	